

○事業経緯

平成19年度～23年度に実施した、地域再生人材創出拠点の形成「十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成」のノウハウを引き継ぎ、平成24年度より、帯広市・国立大学法人帯広畜産大学の共同事業として「フードバレーとかち人材育成事業」を実施している。

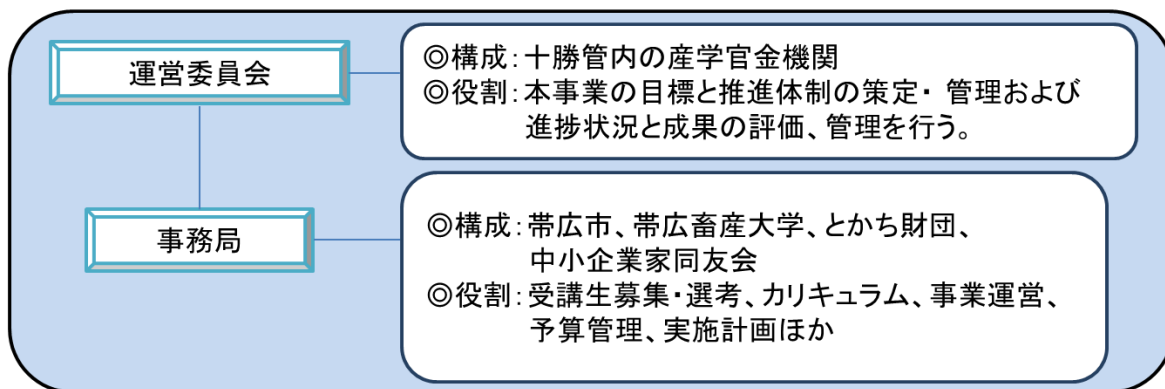
平成27年度は、ビジネスコース、食品安全管理コース、農業生産者コースの3つのコースを設け実施し、延べ人数で62名が修了した。今年度より大学院生が本事業に参加できるように制度を変更した。このことにより、社会人と学生の相互啓発の場が創出された。

また、特別講習では、グローバルギャップや6次産業化の取り組みに関する特別講習を開催し、延べ206名が受講した。

**フードバレーとかち人材育成事業**

- 目的: チャレンジ精神等を持って、企業経営、異業種参入、起業化、地域の経済発展に寄与する『リーダーシップ』を発揮する人材を育成する。
- 組織: 帯広市・帯広畜産大学共同事業(帯広市予算・大学予算・受講料を財源として実施)

○フードバレーとかち人材育成事業 事業運営体制



**研修コースの概要**

ビジネスコース	基礎編 地域産業活性化に向けた経営論・実習	応用編 企業戦略論・実習
食品安全管理コース	食品有害微生物講習（初級）8月・2月実施	
農業生産者コース	<p>農業者、支援団体、農業関連資材、メーカーのニーズにあわせて開講する。 生産者に必要なコア技術を学ぶ研修コース</p> <p>※地域ニーズ等にあわせて随時実施する「自由選択講義プログラム」として開催</p>	
<p>フォローアップ事業: 研修終了後に各修了生の事業化や課題解決を支援</p>		

- 連携事業: 3大学合同セミナー
- 特別講習: 地域の課題解決に向けた講演を実施

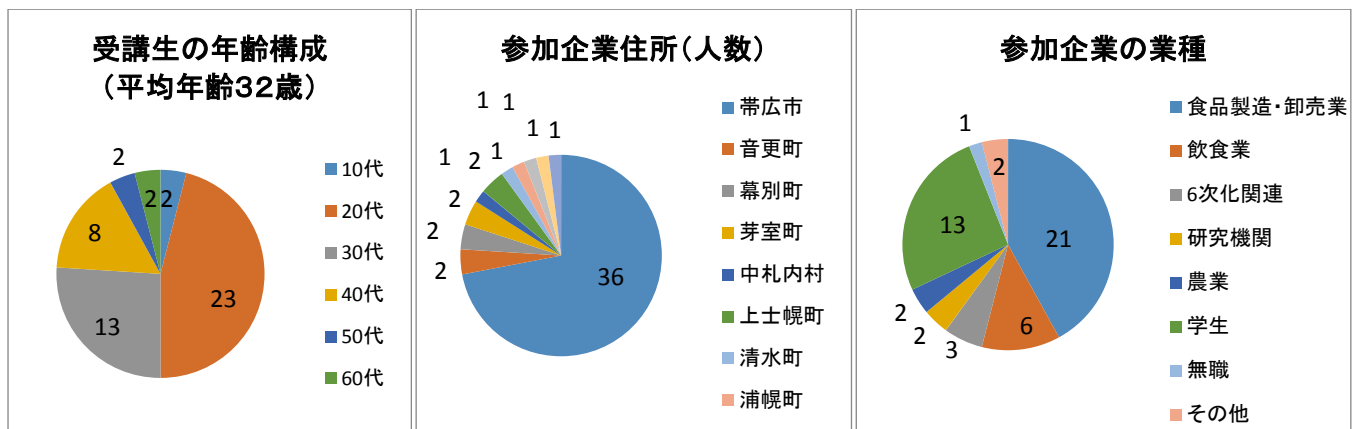
○平成27年度事業実績

コース・講習名	実施期間	実施時間	受講料	募集定員	受講者数	修了者数
<b>ビジネスコース</b>						
【地域産業活性化に向けた経営論】	H27.6.15～ H27.8.10	約3時間×8講	20,000円	10名	18名	16名
【企業戦略論】	H27.10.6～ H27.10.28	約3時間×8講	30,000円	10名	8名	7名
<b>食品安全管理コース</b>						
食品有害微生物講習【初級】	H27.8.31～ H27.9.2	7時間×3日	20,000円	10名	7名	7名
食品有害微生物講習【初級】	H28.2.3～ H28.2.5	7時間×3日	20,000円	10名	17名	17名
<b>農業生産者コース（自由選択講義プログラム）</b>						
GLOBAL G.A.P.概論	H27.12.17	1時間×5講	無料	各20名	43名	※15名
GLOBAL G.A.P.認証について						
イオンアグリ農場の事例紹介						
農業機械の最新情報	H27.12.24					
可変施肥システムの最新情報						
<b>特別講習</b>						
フードチェーンにおける グローバルギャップの位置づけ	H27.8.22	約1時間×3講	無料	50名	42名	—
満寿屋商店の小麦を通した 地域貢献について	H27.10.28	1時間×1講	無料	40名	72名	—
カミチクグループの6次化スタイル	H28.2.2	1時間×1講	無料	—	92名	—
<b>合計</b>					299名	62名

※農業生産者コースの受講生のうち修了要件を満たした方の数。

- ・受講参加企業・団体・個人 116
- ・受講生男女別人数 男性220人：女性79人（延べ人数）

以下、有料講習の分析



※全て延べ人数

○**修了生の活動状況**（新聞記事および事務局に寄せられた情報より抜粋）

<事例 1> 山岸牧場「さくら工房」北出愛（平成 24 年度修了生）

本年度道 HACCP 認証 7 取得。

2014 年に酪農教育ファームに認定され、十勝管外の親子連れなどを対象に牧場体験を開催している。

<事例 2> 農業生産法人 有限会社トヨニシファーム 小倉広樹（平成 24 年度修了生）

ブランド牛「豊西牛」の串焼き「カルビ牛」を商品化し、全国の物産展などで販売。また、ステーキ用の厚切り肉を商品化し、通信販売や市内の飲食店に提供している。

<事例 3> デリカファクトリー十勝株式会社 横山直孝（平成 24 年度、平成 25 年度修了生）

菓子店の「ブルボン」を店舗込みで引き継ぎ、一般向けの菓子店「ドルチェ デラ・カーサー」をオープン。カタラーナなど同社の主力商品を販売している。

<事例 4> 株式会社江戸屋 向山理（平成 24 年度修了生）、伊藤みゆき（平成 25 年度修了生）

本年度道 HACCP 認証 7 を取得。

2 名の修了生が中心となり、食品安全マネジメントシステムを運用している。

<事例 5> 有限会社中田食品 貴戸武利（平成 25 年度修了生）

本年度道 HACCP 認証 7 を取得。

塩分があると固まりにくい豆腐の難点を克服し、しょうゆ・みそ味のついた充填豆腐「味な絹ちゃん」を開発、販売。

<事例 6> 株式会社十勝野フロマージュ 赤部順哉（平成 25 年度修了生）

チーズとマッシュポテトを混ぜ合わせた「十勝アリゴ」や、ホエイ（乳清）を使ったドレッシング「十勝野ホエイイタリアン」「十勝野ホエイフレンチ」、バターミルクソース「十勝野バターミルクソース」等、乳製品を使用した商品を開発・販売している。

<事例 7> 株式会社しんかーず 松下長正（平成 25 年度修了生）

就労支援事業所における宅配配食サービスの他に「タイヤ交換サービス」を開始。

<事例 8> 有限会社十勝リサイクル 時安宏幸、白井香（平成 26 年度修了生）

JA 中札内村と協力し、中札内産枝豆を使用した「えだまめ石けん」を販売。

<事例 9> 株式会社珈琲専科ヨシダ 三野宮厚子（平成 26 年度修了生）

十勝産野菜を砂糖漬けした、「十勝糖菜」を開発、帯広藤丸店で発売を開始。

台湾農業者が生産した、蜂蜜とコーヒーのコラボ商品「台湾ハニーコーヒー」を帯広藤丸店にて数量限定で販売。

<事例10> 株式会社ガロード（旧有限会社ユウキ物産） 堀江浩明、岡本晃全（平成26年度修了生）  
マレーシアに法人を設立し、焼き肉店「KEMURI」を出店。グループ会社の九条ファームの農場HACCP取得を目指している。

<事例11> 株式会社ノベルズ食品 澤田直子（平成27年度修了生）  
株式会社ノベルズ 持塚瑠衣（平成24年度修了生）、緒方三華（平成25年度修了生）  
食品添加物や化学調味料を使用しない、十勝ハーブ牛と塩だけでできたコンビーフを発売。  
ベトナムに十勝ハーブ牛の輸出を開始。

<事例12> カルビーポテト株式会社 早瀬拓祥（平成27年度修了生）  
帯広畜産大学の学生と、自社の商品について学生を対象にマーケティング調査を実施。

<事例13> Nobu-Kitchen 榎安信子（平成27年度修了生）  
「帯広豆腐マイスター倶楽部」を発足、帯広市食育推進サポーターに登録し、小学生を対象に豆腐作り講座を実施。また、子育て支援として子供職業体験（キッズニア）を行っている。

<事例14> 株式会社エイムカンパニー 佐藤慎吾（平成27年度修了生）  
北海道中小企業総合支援センターの地域支援活用型ハンズオン支援事業を活用し、ジャージー牛乳プリンや外販用「白いカタラーナ(仮称)」を開発した。

## ○連携事業

### ① 3大学合同特別セミナー

#### <概要>

3大学合同特別セミナーを帯広畜産大学で開催した。北見工業大学、東京農業大学、帯広畜産大学の各大学で実施している。社会人人材育成事業の受講生ならびに修了生を対象に、参加者の取り組み紹介を通して、課題を共有しつつ、地域間の連携の可能性について検討した。

同時に、特別講習でイオングループのグローバルギャップの取り組みを学び、地域農業におけるグローバル化への対応について考えた。

#### <実施スケジュール>

実施日	内容		講師	受講者数
8月21日(金) 14:30~17:30	3大学合同セミナー	各大学の取り組み紹介	帯広畜産大学 教授 仙北谷 康	25名
		ビジネスプランブラッシュアップに向けたグループ討議		
8月22日(土) 9:00~11:00	3大学合同セミナー	プレゼン発表	坪井 真一 氏	
8月22日(土) 12:00~15:15	特別講習	グローバルギャップの概要と日本にける取組み事例について	イオントップバリュ(株) 植原 千之 氏	
		イオンアグリ創造の取組み事例について	イオンアグリ創造(株) 福永 庸明 氏	
		十勝小豆農家のグローバルギャップの認証取得について	(株)A-Net ファーム十勝 森田 哲也 氏	
				42名

### ②合同特別セミナー「地域を彩る食物語」

#### <概要>

北見市産学官連携推進協議会主催、北見工業大学共催のセミナーに参加。

修了生による来場者への取り組み紹介、情報交換会での他大学の教員・受講生間の情報交換が行われた。

有限会社十勝リサイクルからは、十勝産原料を素材とした化粧石鹸、入浴剤等の販売を行った。

#### <実施スケジュール>

実施日	内容	受講者数
1月13日(水)~ 1月14日(木)	地域を彩る食物語 パネル展・セミナー・プレゼン	フードバレーとかち人材育成事業修了生：2名 十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成事業修了生：1名

## ○フォローアップ事業

### <概要>

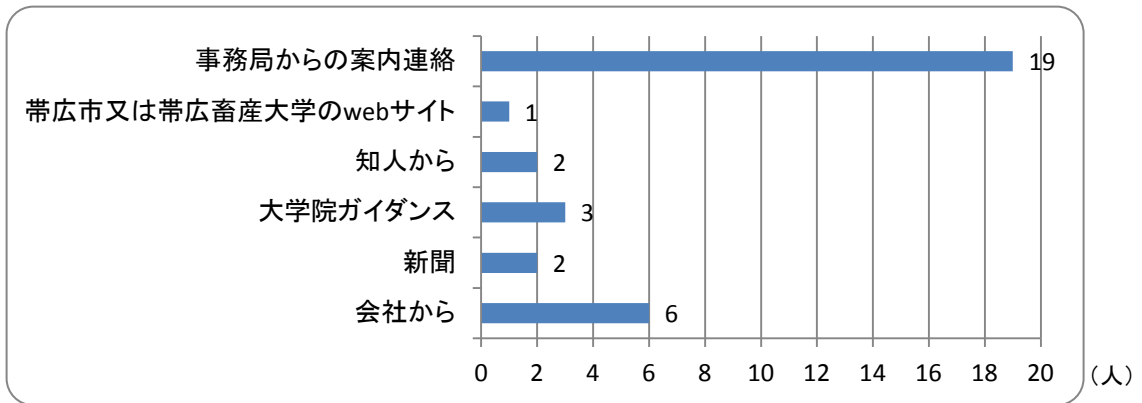
フードバレーとかち人材育成事業の、平成24年度～27年度の修了生を対象に、フォローアップ事業を実施。修了生が企画立案する事業等へのアドバイスを実施した。

### <実施スケジュール>

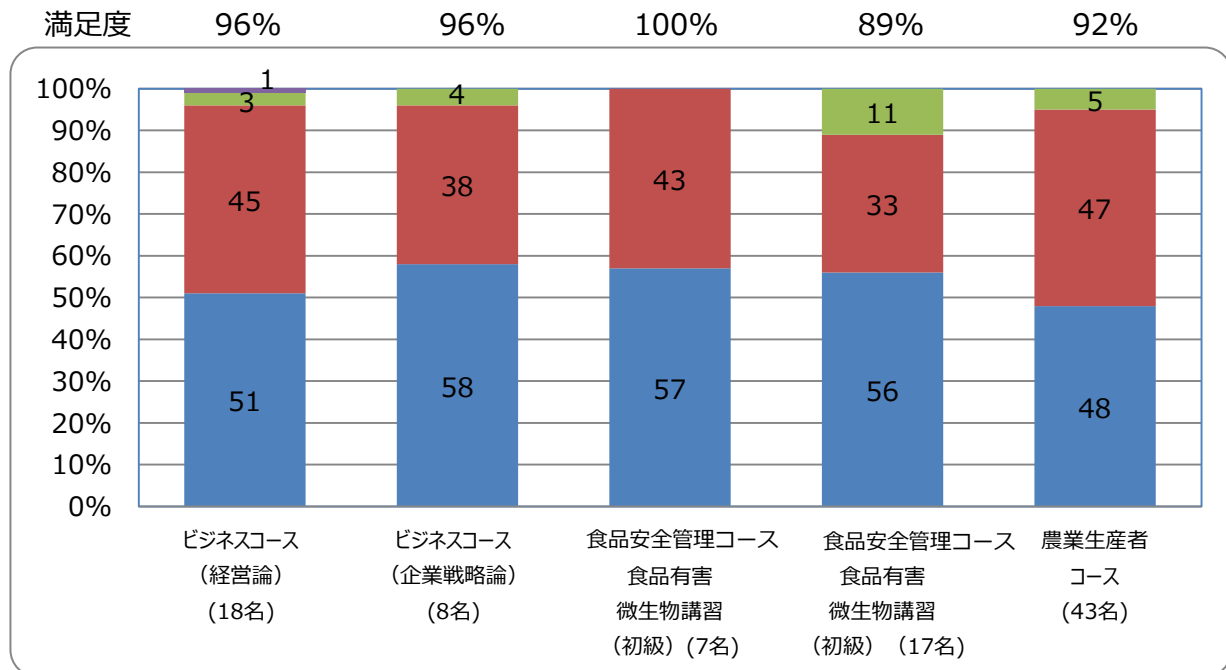
実施日	内容	講師	受講者数
10月31日(土) 4:00～8:00	帯広卸売市場株式会社 施設見学	帯広地方卸売市場 橋本 健太郎 氏	7名

## ○アンケート結果

Q1. 当事業・各コースを知ったきっかけ（対象者：有料講習の受講生50名、回答者：33名）

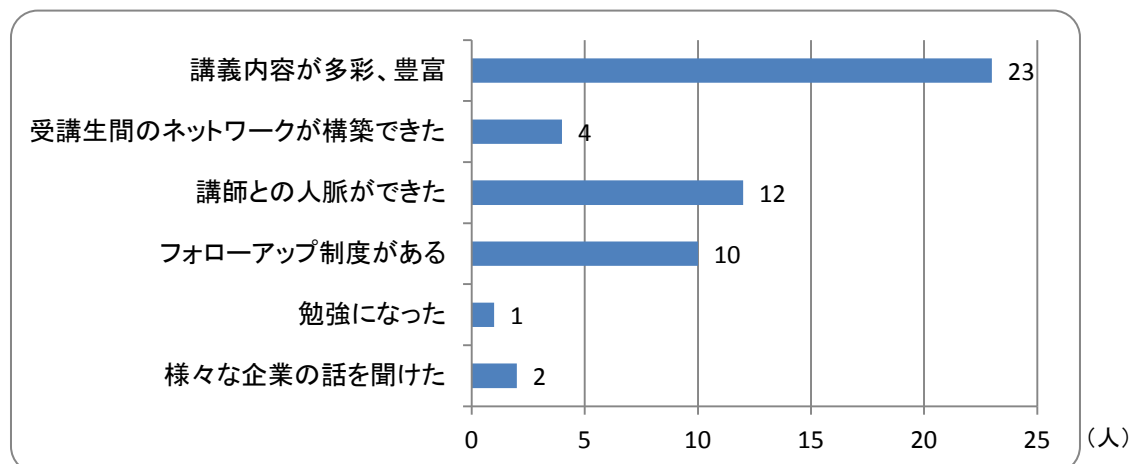


Q2. 各コースの満足度（対象者：各コースの受講生、回答者数：コース名に併記）



評価色	満足		不満	
	とても良い	概ね良い	あまり良くない	全く良くない

Q3. 受講してよかった点（複数回答可）（対象者：有料講習の受講生50名、回答者：33名）



## ○会議開催状況

### 運営委員会

第1回 平成27年4月24日（金）10:00～11:00

- 議題：1. 平成26年度決算報告について  
3. 平成27年度スケジュールについて

第2回 平成27年12月8日（月）（持ち回り）

- 議題：1. 講義内容の変更について  
2. 共同事業計画書の変更について

第3回 平成28年3月25日（金）11:00～12:00

- 議題：1. 平成27年度共同事業計画書について  
2. 平成28年度事業計画（案）について

### 事務局会議

第1回 平成27年4月17日（金）10:30～12:00

- 議題：1. 平成26年度 事業報告について  
2. 平成27年度 年間予定について

第2回 平成27年4月27日（月）（持ち回り）

- 議題：1. ビジネスコース（地域産業活性化に向けた経営論）募集要項の決定について

第3回 平成27年5月29日（金）10:30～12:00

- 議題：1. 事務局長の専決事項について  
2. 合同特別セミナー実施について  
3. フォローアップ事業について  
4. ビジネスコース（地域産業活性化に向けた経営論）の受講生決定について

第4回 平成27年6月18日（木）

- 議題：1. 合同特別セミナー実施について

第5回 平成27年6月29日（月）（持ち回り）

- 議題：1. 食品安全管理コース 食品有害微生物講習（初級）募集要項の決定について

第6回 平成27年7月23日（木）（持ち回り）

- 議題：1. 合同特別セミナー及び特別講習の募集案内の決定について



第7回 平成27年8月11日(金)(持ち回り)

議題：1. ビジネスコース(企業戦略論)の募集要項決定について

第8回 平成27年10月14日(水)

議題：1. ビジネスコース修了式について

議題：2. 農業生産者コースについて

議題：3. フォローアップ講習について

第9回 平成27年11月24日(火)(持ち回り)

議題：1. 農業生産者コース 農業生産者向けセミナーの募集案内の決定について

第10回 平成27年12月15日(火)

議題：1. 食品安全管理コース 食品有害微生物講習(初級)募集要項の決定について

議題：2. 地域を彩る食物語(北見)への参加について

議題：3. 平成27年度報告会について

第11回 平成28年1月12日(火)(持ち回り)

議題：1. 平成27年度報告会の募集案内の決定について

第12回 平成28年3月22日(火)(持ち回り)

議題：1. 平成27年度事業報告書~概要版~について

2. 平成28年度共同事業計画書について